



ウメモト インフラオメーション



2020年8月28日

担当者: 榎野

凸版、イベント中止でポスター減 純利益75%減へ

企業決算

2020/8/27 20:30 | 421文字

保存 共有 印刷 複製 共有 ツイート その他

凸版印刷は27日、これまで公表していなかった2021年3月期の純利益が前期比75%減の220億円になる見込みと発表した。新型コロナウイルスが流行して東京オリンピックなどイベントの中止が相次ぎポスターやチケットなどの印刷が減り、企業の販促用パンフレットも振るわない。前期にリクルートホールディングス株売却益を計上した反動も表れる。

売上高は3%減の1兆4400億円、営業利益は40%減の400億円を見込む。年間配当は40円（前期は記念配20円込み60円）を予定する。

個人消費が落ち込んでいるため、ダイレクトメールの印刷や飲料などの包装材も落ち込む。住宅など工事の一時休止が広がり、壁紙や床材の需要が低迷。海外工場の稼働も落ち込む。一方で新型コロナ対策に伴う企業向けのシステム構築や、電子書籍の配信事業の伸びを見込んでいる。

同日発表した20年4～6月期の連結決算は、売上高が前年同期比5%減の3282億円、純利益が78%減の6億4900万円だった。

引用記事

日本経済新聞

燃料油脂新聞

化学工業日報

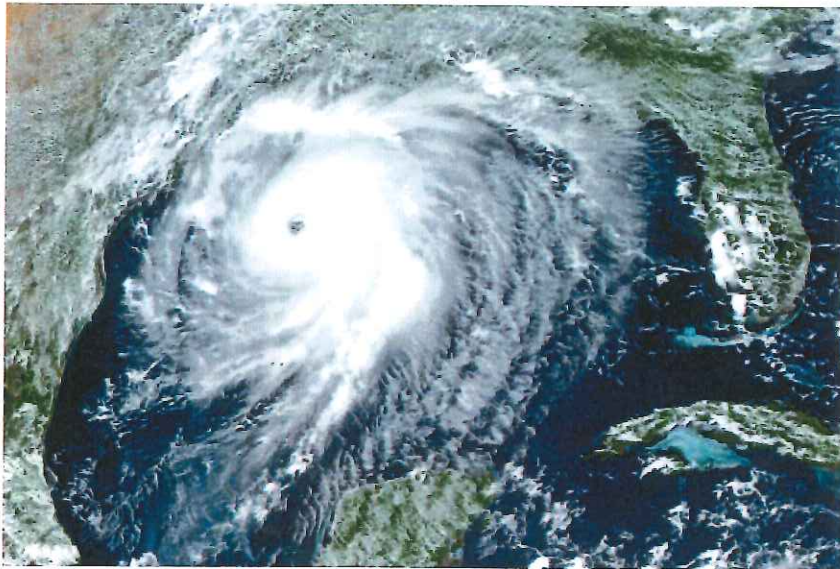
米南部に最大級ハリケーン、60万人避難勧告 石油施設停止

環境工ネ・素材 北米

2020/8/27 2:50 (2020/8/27 6:18更新) | 822文字

【ニューヨーク=中山修志】米南部のメキシコ湾岸に大型ハリケーン「ローラ」が接近し、テキサス州やルイジアナ州で被害への警戒が強まっている。両州では26日までに約60万人に避難勧告が出された。湾岸の石油施設の操業が止まり、供給不足の懸念からガソリンなどの価格が上昇している。

ローラは26日午後の時点で5段階で2番目に強い「カテゴリー4」まで勢力を強め、メキシコ湾内を北上している。米国立ハリケーンセンター（NHC）によると、現地時間27日未明（日本時間27日午後）にテキサス州とルイジアナ州の州境付近に上陸する見通しだ。



ハリケーン「ローラ」の衛星写真=AP

テキサスとルイジアナの両州は計約60万人に避難勧告を出した。休校中の学校の体育館などが避難所に指定されたが、新型コロナウイルスによって住民の移動や受け入れ体制に影響が出ている。

米疾病対策センター（CDC）は自治体からの要請があった場合、迷わず避難所を利用するよう勧めている。だが、地元メディアによると、密集を避けるため自宅待機を選ぶ住民も多いという。CDCは避難所での感染を避けるため1人5枚のマスクを配布するよう推奨しているが、十分な量を用意できない避難所もあるとみられる。

メキシコ湾岸には全米の精油能力の約5割が集中している。周辺の石油生産設備や製油所はハリケーンの被害に備えて操業を停止し、従業員を避難させた。操業停止が長引けば石油製品の供給が滞るおそれがあり、米商品市場では原油先物指標のWTI（ウエスト・テキサス・インターミディエート）が1バレル43ドル台半ば、ガソリン先物が一時1ガロン1.4ドルとおよそ5カ月ぶりの高値に上昇した。

米南部では2005年8月にハリケーン「カトリーナ」がルイジアナ州に上陸し、1800人が死亡する被害を出した。ローラは上陸時の勢力がカトリーナを上回る可能性がある。NHCは「26日夜からテキサスとルイジアナが暴風域に入り、上陸後は破壊的な暴風の被害が見込まれる」と警戒を呼びかけている。

引用記事

日本経済新聞

燃料油脂新聞

化学工業日報



ウメモト
インフラオメーション

2020年
8月
27日

担当者
榎野





ウメモト インフォメーション



2020 年 8 月 26 日

担当者: 小村

説 需給均衡で原油価格が堅調

(1)

原油価格はWTIが43ドルを前に足踏み状態にあり、ドバイ・オマーンは45ドルには届いていない。協調減産を巡りサウジアラビアとロシアが決別した3月以前の価格水準（WTI 50ドル、ドバイ・オマーン55ドル前後）をいぜんとして下回っている。しかしロシアに協調減産の提案を蹴られたサウジの供給拡大政策が収束し、再び協調減産に合意した6月以降の需給は、次第に供給過剰から均衡を取り戻しつつある。

(2)

20ドル割れの4月底値から上昇に転じた原油価格は、足元ではボックス圏に入った感もあるが、5億ドルを超えて高水準にある米国の原油在庫が需給均衡における価格上昇を抑えているとの指摘もある。米国の原油在庫は協調減産でロシアの合意を得られなかったサウジが供給を拡大した4月から5月にかけて膨らんだが、コロナ禍で米国における需要が落ち込んだこともあり在庫消化がなかなか進まなかった。

(3)

今後の原油価格は、需給の均衡を考えれば現状から再び下落に転じるとは考えにくい。むしろ世界経済に回復の兆しが見えれば、需要増への期待から上昇を織り込むとみられる。OPECプラスは7月以降、追加減産の打ち切りおよび減産幅の縮小を実施してきたが、原油価格は堅調を維持した。足元では米国の在庫も縮小している。2021年の需要が大幅に回復するシナリオもあり、コスト上昇への備えも必要だ。



ウメモト インフォメーション



2020年8月27日

担当者: 水谷

サカタインクス、抗ウイルスコート剤開発

2020/8/26 17:42 | 日本経済新聞 電子版

サカタインクスは26日、一般社団法人の抗菌製品技術協議会（SIAA）の認証を受けた抗ウイルスコート剤を開発したと発表した。紙のパッケージやカタログの表面に塗工すると、付着したウイルスの増殖を抑える効果がある。新型コロナウイルスへの効果は実証されていない。新型コロナの影響で、感染防止対策のニーズが高まっていることに対応する。

抗ウイルス機能を持ったコート剤の開発は同社では初めて。紙のパッケージや段ボール、書籍などでの利用を見込む。同社はこれまでも抗菌コート剤を販売。コロナ禍で引き合いが増加する中、ラインアップを拡充し力を入れている。

引用記事 : 日本経済新聞 ・ 燃料油脂新聞 ・ 化学工業日報